

冬の災害・事故に備えて

住宅編 ～雪の災害トラブルにご用心!～



事前対策で被害を最小限度に

- 1 降雪前に、家屋の内外を点検
屋根・外壁のひび割れ、雨樋い等の自然劣化の補修を※3
- 2 気象情報をこまめにチェック
気象情報をチェックし、早めの対策を
- 3 雪下ろし作業時の安全確保
足元に滑り止めや、命綱を

雪の災害に「火災保険」などが有効な場合があります

雪の災害により、住居に使用される建物 ※1や家財が破損等の被害にあわれたら、「火災保険」(損害保険)や「建物更生共済」(JA共済)、「住みいる共済」(全労済)などで保険金(共済金) ※2,3 が支払われることがあります。

- ※1 カーポート、門、塀、物置等が補償の対象となっているか、ご契約内容をご確認ください。
- ※2 「雪災」とは、単なる積雪ではなく、豪雪・なだれ等の天災規模の災害に対して保険金が支払われるとの趣旨です。詳細はご加入の損害保険会社または代理店、JA、全労済にお問い合わせください。
- ※3 自然の消耗もしくは劣化または性質によるさび等によって生じた損害は、保険金(共済金)の対象とはなりません。



住宅修理やリフォームに関する契約トラブルが増えています!

手口の例.1 自己負担ゼロを強調した勧誘



手口の例.2 うその理由で保険金請求



修理の契約をする前に、
まずはご契約の
損害保険会社
または代理店、JA、全労済に
ご相談ください!

「水道管凍結」にもご注意!

事例

水道管が凍結・破損し、室内に水漏れ損害が生じた。発見が遅れ、損害が拡大した。損害額：約100万円

対策

長期不在時には、必ず元栓から水抜きを!!

※ 配管により水抜きの方法が違います。「水抜き栓」による水道管の水抜きの方法は、入居時のパンフレット等をご確認ください。アパート・マンションにお住まいの方で不安な場合は管理会社または大家さんに教えてもらうようにしましょう。



私たちは、業界を越えた連携により、不良修理業者の撲滅を推進して参ります。

一般社団法人 日本損害保険協会 東北支部事務局
JA・JA共済連宮城/全労済 損害共済金部

冬の災害・事故に備えて

自動車編 ～スリップ事故にご用心!～

安全運転のポイント

- 1 発進は「ゆっくり、慎重に!」
- 2 走行中の「加速・減速はゆっくり、ゆるやかに!」
- 3 ブレーキの操作は「早めに・ソフトに!」

路面状況別の「滑りやすさ」(摩擦係数)

冬道での制動距離(ブレーキ距離)は乾燥路の3~10倍以上の危険性があります。

摩擦係数	路面状況	危険性(乾燥路に対する)
0.7-0.9	乾燥路	1倍
0.2-0.4	圧雪路	3.2倍
0.1-0.2	凍結路	5.4倍
0.1未満	つるつる凍結路	8.0倍

注1 摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほど滑りやすいことを意味している。

注2 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会ホームページ掲載データより。

凍結路の注意ポイント

前方の交通状況に目配り

追突事故の主な原因は前車に漫然と追従していて、その減速・停止に気づくのが遅れたというもの。前車の動向に注意を



キープレフト

積雪で道幅が狭くなると、センター寄りになり、対向車線にはみ出しがち。意識的に左側に寄るように。ただし、側溝への落下には注意!



カーブでは十分な減速を

カーブでは遠心力で横滑りが生じやすく、特に左カーブでは対向車線にはみ出して衝突の危険が



トンネルの出入口

凍結しやすいばかりか、眼の明暗順応で先の状況が見えにくいいため、路面状況の変化予測が必要



坂道

下り坂は止まりにくいので、事前に十分な減速を。上り坂では発進時のアクセル操作を慎重に



橋の上

吹きさらしの路面は凍結している可能性が大。橋の上はアイスバーンを前提で



日影

氷が溶けずに残っている可能性が高い。細心の注意を



交差点

雪の壁で他車の走行が見えなかったり、多くの車が通過するため、路面がツルツルになっていることも

